

2017年6月26日

日本ユニシス実業団バドミントン部
「オーストラリアオープン2017」で
女子シングルス 奥原希望、女子ダブルス 高橋礼華・松友美佐紀組 優勝！

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）実業団バドミントン部^(注1)の女子シングルス奥原希望と女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀組が、6月25日、オーストラリア・シドニーで行われた「オーストラリアオープン2017」において優勝しました。

今回の優勝は、奥原、高橋・松友組にとって今シーズン初のスーパーシリーズ^(注2)優勝となります。

女子シングルス 奥原希望は、準決勝で長身の孫瑜選手（中国）に2-1で勝利、決勝戦は山口茜選手との日本人対決となり、ファイナルゲームの末、勝利を手にしました。

女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀組は、中国の若手ペア陳清晨／賈一凡組をストレートで制し、決勝戦ではデンマークのリターユール／ペデルセン組を見事ストレートで下し優勝を決めました。

奥原希望、高橋礼華・松友美佐紀組は、チームに合流し、7月5日からの「全日本実業団選手権大会」で優勝を目指します。



「オーストラリアオープン2017」優勝の奥原希望、松友美佐紀、高橋礼華

以上

【奥原 希望】

「復活優勝出来てほっとしています。やっと勝負出来るスタートラインに立てたかな、という感じです。この後は、世界選手権、その前に全日本実業団選手権大会があります。1 試合ずつ私らしさを忘れずに頑張りたいと思います！応援ありがとうございます。」

【高橋 礼華】

「今年初の SS 優勝を果たすことができ嬉しく思います。この大会では自分たちの良いプレーを出すことができました。次は全日本実業団選手権大会でチーム一丸となって優勝できるよう頑張ります。これからも応援よろしくをお願いします。」

【松友 美佐紀】

「今回、オーストラリアオープンで優勝することができました。沢山の声援を送っていただき、とても嬉しかったです。ありがとうございます。今後もさらに進化していけるように頑張っていきますので、応援よろしくお願ひ致します。」

【プロフィール】

<奥原 希望 (おくはら のぞみ) >



1995年3月13日 (22歳) 156.8cm
長野県大町市出身 埼玉県立大宮東高校卒 2013年入社
女子シングルス：世界ランキング^(註3) 12位・日本ランキング^(註4) 2位
2016 リオデジャネイロオリンピック シングルス 第3位
2016 第106回全英オープン シングルス 優勝
2015 スーパーシリーズファイナル シングルス 優勝
2015 全日本総合選手権大会 シングルス 優勝 (4年ぶり2度目)
2015 ヨネックスオープンジャパン シングルス 優勝
2015 US オープン シングルス 優勝
2015 中国インターナショナルチャレンジ シングルス 優勝
2015 マレーシアマスターズ シングルス 優勝
2014 韓国オープン シングルス 優勝
2014 ベトナムオープン シングルス 優勝
2014 ニュージーランドオープン シングルス 優勝
2012 世界ジュニア シングルス 優勝
2012 インターハイ シングルス 優勝
2012 カナダグランプリ シングルス 優勝
2012 日本ランキングサーキット大会 シングルス 優勝

<高橋 礼華 (たかはし あやか) >



1990年4月19日 (27歳) 164cm
奈良県橿原市出身 聖ウルスラ学院英智高校卒 2009年入社
女子ダブルス：世界ランキング1位・日本ランキング1位
2017 アジア選手権 ダブルス 優勝 (2連覇)
2016 スーパーシリーズファイナル ダブルス 準優勝
2016 全日本総合選手権大会 ダブルス 優勝 (5度目)
2016 デンマークオープン ダブルス 優勝
2016 ヨネックスオープンジャパン ダブルス 準優勝
2016 リオデジャネイロオリンピック ダブルス 優勝
2016 インドネシアオープン ダブルス 優勝
2016 アジア選手権 ダブルス 優勝
2016 インドオープン ダブルス 優勝
2016 第106回全英オープン ダブルス 優勝
2016 マレーシアマスターズ ダブルス 優勝

- 2015 全日本総合選手権大会 ダブルス 優勝 (2年ぶり4回目)
- 2015 インドオープン ダブルス 優勝
- 2014 スーパーシリーズファイナル ダブルス 優勝
- 2014 ヨネックスオープンジャパン ダブルス 優勝

<松友 美佐紀 (まつとも みさき) >



- 1992年2月8日 (25歳) 159.5cm
- 徳島県板野郡出身 聖ウルスラ学院英智高校卒 2010年入社
- 女子ダブルス：世界ランキング1位・日本ランキング1位
- 2017 アジア選手権 ダブルス 優勝 (2連覇)
- 2016 スーパーシリーズファイナル ダブルス 準優勝
- 2016 全日本総合選手権大会 ダブルス 優勝 (5回目)
- 2016 デンマークオープン ダブルス 優勝
- 2016 ヨネックスオープンジャパン ダブルス 準優勝
- 2016 リオデジャネイロオリンピック ダブルス 優勝
- 2016 インドネシアオープン ダブルス 優勝
- 2016 アジア選手権 ダブルス 優勝
- 2016 インドオープン ダブルス 優勝
- 2016 第106回全英オープン ダブルス 優勝
- 2016 マレーシアマスターズ ダブルス 優勝
- 2015 全日本総合選手権大会 ダブルス 優勝 (2年ぶり4回目)
- 2015 インドオープン ダブルス 優勝
- 2014 スーパーシリーズファイナル ダブルス 優勝
- 2014 全日本総合選手権大会 混合ダブルス 優勝 (2連覇)
- 2014 ヨネックスオープンジャパン 女子ダブルス 優勝

注1：日本ユニシス実業団バドミントン部

- 1989年 創部
- 2000年 シドニーオリンピック、男子シングルス日本代表選手を輩出
- 2004年 アテネオリンピック、男子シングルス日本代表選手を輩出
- 2005年 「日本リーグ」初優勝
- 2006年 国内団体戦の2大タイトル「全日本実業団選手権大会」・「日本リーグ」を完全制覇
- 2007年 女子チームを創設
- 2008年 北京オリンピック、男子ダブルス日本代表を輩出
- 2009年 「日本リーグ」男子チーム優勝、「日本リーグ2部」女子チーム優勝
- 2010年 女子チーム「日本リーグ2009」入替戦に勝利し1部昇格
- 2010年 「日本リーグ2010」史上初の男女同時優勝を達成
- 2011年 「日本リーグ2011」女子チーム2連覇を達成
- 2012年 「全日本実業団選手権大会」男子チーム6年ぶり2度目の優勝
- 2012年 ロンドンオリンピック、混合ダブルス日本代表を輩出
- 2013年 「全日本実業団選手権大会」で男女同時優勝を達成
- 2013年 「日本リーグ2013」で史上2度目の男女同時優勝を達成
- 2014年 女子チーム「第64回全日本実業団選手権大会」で2連覇達成
- 2015年 女子チーム「第65回全日本実業団選手権大会」で3連覇達成
- 2016年 「バドミントン日本リーグ2015」で3度目の男女とも同時優勝を達成
- 2016年 リオデジャネイロオリンピック、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス、女子シングルス日本代表を輩出
女子ダブルス優勝、女子シングルス第3位、男子ダブルス5位入賞、混合ダブルス5位入賞

注2：スーパーシリーズ

世界バドミントン連盟 (BWF) が2007年より実施しているオリンピック、世界選手権に次ぐグレードの国際大会。年間12大会開催される。

注3：世界ランキング

世界バドミントン連盟 (BWF) が発表する世界ランキング。(2017年6月22日時点)

注4：日本ランキング

日本バドミントン協会が発表する日本ランキング。(2017年6月9日時点)

***関連URL：**

■日本ユニシス実業団バドミントン部 <http://www.unisys.co.jp/BADMINTON/>

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。